



学校だより

はと広場

北小 Revival～ありがとう 75年 100年に向かってスタート

6 月 号

令和 3 年 5 月 3 1 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

勇気～自他を大切にする言葉～

校長 三村 悟

北門の周りのアジサイが咲き始めました。明日から6月。今年の梅雨入りは例年と比べて早くなりそうだという予報です。今週はプール清掃やふれあい花植え等、夏に向けての準備が進みます。

5月は、健康診断、授業参観、修学旅行等の学校行事を行いました。1年前に比べると、確実に前に進むことが出来ています。感染症防止対策を取りながら学びを前に進めることが出来るのは、保護者の皆様をはじめ関係者の方々の御理解と御協力があればこそ。心より感謝申し上げます。

先日、いつものように、朝の挨拶をしながら教室を巡っていたら「校長先生、お手紙を書きました。読んでください」と2年生の児童から手紙をもらいました。そこにはこう書いてありました。

三村こうちょう先生へ

まいにち学校のことをやってくださって、ありがとうございます。いつもぎっそうをぬいてくださってありがとうございます。

わたしは、いま、おべんきょうやうんどうをがんばっています。おともだちがいっぱいになってきました。先生におべんきょうをいっぱいおしえてもらっています。



北門周辺のガクアジサイ

心がとても温かくなるのを感じました。中庭の畑で6年生と一緒に草取りをしている姿を見ていてくれたのでしょうか。心の中で思ってもらえるだけでも有難いことですが、こうして言葉にして伝えてもらうと元気になります。そして「これからもへこたれずに続けていこう」という勇気が湧いてきます。

いつも家庭で温かな言葉をかけてもらっているのだろうなと思うと自然に笑顔になりました。

他者のよい行いを見ると自然と心が温かくなり、「素晴らしいな」と心の中でつぶやきます。しかし、心のつぶやきを言葉にして伝えるのは簡単な事ではありません。「わざわざ言ったらへんなふうに思われなかな」というような、ためらいの気持ちが働いて言葉を飲み込んでしまうからです。この気持ちを乗り越えるのには勇気が必要です。よいと思ったことを言葉にする勇気は、相手の心の勇気と響き合います。他者を大切に思っ発する言葉は、自分を大切にする言葉でもあるのです。

人のよい行いを素直に認め言葉にして伝える勇気を育む6月にしたいと思います。そのためには、まず私達大人が、目の前の児童のよいところを見つけ、伝え、ともに喜ぶことに取り組みたいと思います。